

意見概要及び事務局対応案

基本計画 総論 (2) 土地利用方針

【対応案】 ①素案を修正する
②素案のとおりとする(実施計画・分野別計画などで対応含む)
③その他(検討等)

資料3

政策等	項目	番号	委員発言趣旨	素案P	事務局対応案		「資料2」ページ
					対応案	理由	
土地利用方針	現状と課題	1	《現状と課題》の5項目目の内容は、現状を記述していることから、順番を2番目に位置を変えて3項目目以降が課題であるというふうに課題をまとめた方が全体の流れとして見やすいのではないか。	17	①	ご意見のとおり順番を入れ替えて記載します。	17
		2	《現状と課題》の内容が「現状」と「課題」になっていないのではないか。	17	①	《現状と課題》の項目の順番を入れ替えるほか、わかりやすさの観点から現状と課題の記載内容を検討します。	17
	現状と課題 土地利用の方針	1	3つの方針と課題の整合性を見た時に、課題にある「誰もが安心して暮らせる都市づくりの必要性」「住まいや活動を選べる場所」などは3方針のどこにいかされているのかわかりづらい。	17 19	①	ご意見のとおり、課題に対応するようなかたちで記載内容を検討します。	17 19
	土地利用の方針	1	方針3「連携軸の強化」について、道路と公共交通だけなのか、相互に連携すべき内容が他にもあるのではないか。	19	①	土地利用方針として、道路や公共交通を、各区の特色ある機能の連携に必要な軸として記載していますが、相互に連携すべきものについて具体的な例を挙げて補足します。	19
		2	多核連携都市のイメージについて、「各区が持つさまざまな機能を連携させ、市全体で活用する」とあるが、イメージしにくいので、イメージをふくらませることができるような具体例を提案してほしい。	18 19	①	相互に連携して活用する港、空港、文化施設等の各区のさまざまな機能については、具体例を用いるなど、わかりやすさの観点から記載内容を検討します。	18 19
			病院機能など、目に見えるような拠点性による地域(各区)の連携の在り方などを示したほうがよいのではないか。				
		多核連携型都市における各区のネットワークについて、もう少し各区の機能について明確に記載することで、隣の区同士で1つのサービスを提供できるような姿が具体的にイメージできるとよいのではないか。					
	3	開発により、生活拠点が変わってきている現状がある中で、「現在の市街地規模を適切に維持していく」という方針がそのとおりに進められるのか。	19	②	今後もこれまで同様に、本市の土地利用の方針として、「田園に包まれた多核連携型都市新潟らしいコンパクトなまちづくり」を掲げ、市全体や各区の持続的発展につながる開発を除き、市街地の拡大を抑制し、現在の市街地規模を適切に維持する方針とします。開発の誘導度合や田園開発の規制、農村集落の維持・活性化などの具体的な内容については、現在の都市計画マスタープランにおいて記載しております。		
		土地利用の方針は、開発の誘導度合がどう図られるか、田園開発の規制をどうするかなど、新潟の今後あるべき姿を高らかに宣言する場所ではないか。					
	4	土地利用の方針は、開発が市全体、各区の持続的発展のための基盤の整備につながるのかという視点が重要である。					
4	拠点形成を考えるうえで、農村集落についても考えていくことが重要ではないか。	19	②	<p>【都市計画マスタープランにおける記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郊外土地利用の調整制度(基本的な考え方) ・現在の市街地規模を維持する ・市街地周辺部などにおける新たな開発は、新潟市全体や各区の持続的な発展に繋がるような質の高い開発に限定する ○田園集落づくり制度(基本的な考え方) ・農村集落の定住人口や就業の場を増やし集落の維持・活性化につなげる ・市街地調整区域の原則は保持し、無秩序な市街化は防止する ・農用地区域においては農業振興を基本とする 			

□意見概要及び事務局対応案

基本計画 総論 (3)行政運営方針

【対応案】 ①素案を修正する
②素案のとおりとする(実施計画・分野別計画などで対応含む)
③その他(検討等)

資料3

政策等	項目	番号	委員発言趣旨	素案P	事務局対応案		「資料2」ページ
					対応案	理由	
①市民・地域の役割と協働によるまちづくり ②時代に即応した行政経営	現状と課題	1	<行政運営の方針>につなげるうえで、わかりやすさの観点から、<現状と課題>をはっきりと記載する必要があるのではないか。	20	①	ご意見のとおり、わかりやすさの観点から《現状と課題》の記載内容を検討します。	20 21
③持続可能な財政運営	現状と課題 図③-1~3	1	③持続可能な財政運営の《現状と課題》の2項目目の記載について、公共施設とインフラ資産の両方を含んだかたちの記載となっているが、素案P.22のデータは公共施設のみとなっていることから、誤解を受けやすいので、記述を改めるか、インフラ資産のデータを追加した方がよいのではないか。	21 22	①	ご意見のとおり、わかりやすさの観点から、インフラ資産に関するデータの追加と、それに伴う《現状と課題》の記載内容を検討します。	22 24
	行政運営の方針	2	ファシリティマネジメントによる施設の多機能化・複合化を進めるうえで、行政サービスのあり方に関して、組織横断的な考え方が重要なのではないか。	21	②	ファシリティマネジメントによる施設の多機能化・複合化を組織横断的に進めるため、庁内に財産経営推進本部を設置しました。 今後、財産経営推進計画を策定し、組織横断的に取組を進めてまいります。	
		3	施設の廃止等今後のあり方を検討するうえで、費用面などの効率性だけでなく、地域の住民への配慮の視点も重要なのではないか。	21	②	個別の施設のあり方を検討する際には、素案に記載した方針を踏まえて、市民の皆様にご適切な情報提供を行い、意識共有に努めながら進めてまいります。	
	中期財政見直し	4	補足資料の中期財政見直しについて、30年後に生産年齢人口が30%ほど減少する中で、名目経済成長率の見込みが大きいのではないか。	21	②	「中期財政見通しの試算」における名目経済成長率については、本市におけるこれまでの実質的な税収伸率及び、国の財政推計における名目経済成長率と税収伸率の割合を参考に設定しております。 なお、今後の「中期財政見直し」の作成にあたっては、市内経済の状況やファシリティマネジメントの進捗などを考慮し、税収伸率や投資的経費の規模などを検討してまいります。	

□意見概要及び事務局対応案

基本計画 総論 (3)行政運営方針

【対応案】 ①素案を修正する
②素案のとおりとする(実施計画・分野別計画などで対応含む)
③その他(検討等)

資料3

政策等	項目	番号	委員発言趣旨	素案P	事務局対応案		「資料2」 ページ
					対応案	理由	
④本市にふさわしい大都市制度	全体	1	「大都市制度」という言葉は、市民にとって身近でなく、わかりにくいのではないかな。	23	①	わかりやすさの観点から、大都市制度について「地方自治法において、政令指定都市、中核市、特例市について『大都市等に関する特例』が定められており、小・中学校の教職員の任免、国道の管理など一般の市町村よりも多くの権限が与えられる制度のこと」と欄外に注釈を設けます。	25
		2	「本市にふさわしい大都市制度」について、さらにわかりやすくなるよう記載を検討してはどうか。	23	①	ご意見のとおり、わかりやすさの観点から修正します。	25
⑤他自治体との連携・ネットワーク化	現状と課題	1	《現状と課題》の2つ目の項目に「国土交通省の資料によれば」と記載があるが、資料の出典等の記載がないので、記載する必要があるのではないかな。また、「約6割の地域で人口が半減するだけでなく…」という記載があるが、「いつ頃」そのような状態になるのか記載する必要があるのではないかな。	25	①	出典は国土交通省「国土のグランドデザイン2050」(H26年)で、平成62年に約6割の地域で人口が半減するだけでなく、そのうち約2割の地域で人が住まなくなると想定されています。ご意見のとおり、資料の出典の記載と具体的な時期を記載します。	27
	行政運営の方針	2	《行政運営の方針》の記載内容について、1つ目の項目は、《現状と課題》と重複している部分があるので整理した方がよいのではないかな。2つ目の項目は、効率的で質の高い行政サービスを提供し続ける観点から、広域的に連携し、共通の課題に対しては協働で対処していく体制をつくりあげるというかたちで記載した方がよいのではないかな。	25	①	ご意見のとおり、1つ目の項目については、《現状と課題》と重複している「新潟県全体で進む人口減少への対応や圏域の発展を先導する」という部分を削除して記載します。2つ目の項目については、わかりやすさの観点から文章の前段と後段を入れ替えて記載します。	27
		3	《行政運営の方針》の2つ目の項目の「広域的な観点から圏域に共通する課題」について、具体例を挙げて記載することでイメージしやすくなるのではないかな。	25	①	《行政運営の方針》の2つ目の項目の中で、「医療体制の充実や施設サービスなど」と具体例を挙げて記載します。	27
		4	住民の利便性や利用率向上という観点から、施設に関して近隣市町村と連携することを記載してはどうか。	25			

☆

意見概要及び事務局対応案

基本構想

2 まちづくりの理念

3 目指す都市像

他の部会で審議された意見についても掲載

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	部会	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
					対応案	理由	
基本構想 全体	1	1	まちづくりの理念と都市像のつながりをわかりやすく記載する必要があるのではないか。	5 6 7 8	①	いただいたご意見の視点で修正します。	6 7
策定趣旨	1	1	策定趣旨には都市像を実現するにあたっての課題が書かれているが、人口減少や災害といった全国共通の課題だけでなく、新潟市が単独で持っている課題について追加して記載する必要があるのではないか。	5	①	策定趣旨の中に「これまで以上に拠点性や個性を高め、市民生活を向上させることや、国、県の中における本市の役割を果たしていく」という内容を追加して記載します。	5
まちづくり の理念	1	1	まちづくりの理念の2段落目の記載内容がわかりにくいのではないか。 また、まちづくりの理念の説明が3段落あるが、1段落目と2段落目の順番を入れ替えて記載することでわかりやすくなるのではないか。	6	①	2段落目の記載について、わかりやすさの観点から「これまで81万市民は、地域力・市民力、食や伝統など「湊」「田園」に育まれた文化、開港都市としての拠点性をはじめとする多くの個性や強みを共に育ててきました。」と修正します。 また、1段落目と2段落目の順番を入れ替えて記載します。	6
	2	2	市民一人ひとりの個性や多様な生き方を認め合う人権尊重の考え方からすると、「81万市民の総力を結集し」はそぐわないため、「81万市民がそれぞれの立場で、市民力・地域力」としてはどうか。	6			6
	3	2	「将来の世代に引き継いでいかなければなりません。」の後ろに「新潟市に生まれ、育ち、学び、働き、活動する市民一人ひとりが、住んでよかった、ずっと住み続けたいと思える「暮らし」を実現します。全ての市民の人権が尊重される暮らしを実現するためには、男女共同参画を進め、一人ひとりの個性と能力を引き出していく必要があります。」と追加記載してはどうか。				
	4	2	「さらに学び続ける市民が男女共同参画で新しい力を」と追加記載してはどうか。				
都市像 I	1	1	「将来を担う子どもたちを取り巻く環境では」という記載があるが、その後の視点が「子どもの視点」ではなく、「大人の視点」となっており、しかも「子どもを取り巻く環境」ではなく「子育てしやすい環境」についての記載になっているので、記載内容を整理した方がよいのではないか。		7	①	
都市像 I	2	2	都市像 I 「若者が結婚して、地域に住まい、希望する人数の子どもを安心して」を「若者が地域に住み、働き、子どもを安心して」と変更してはどうか。	7			7
	3	2	「都市像 I 市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を「都市像 I 市民が男女共同で学び高め合う、安心協働都市」と変更してはどうか。				
	4	2	都市像 I 「地域の住民がお互いに助け合い、男女共同参画がすすみ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で」と追加記載してはどうか。	7			7
	5	2	都市像 I 「学・社・民の融合による教育の推進とともに」を「学・社・民の融合による男女平等教育や人権教育を推進とともに」と変更してはどうか。				
	6	2	都市像 I 「子どもから高齢者まで共に生涯楽しく元気に暮らすまち」を「子どもから高齢者まで多様な生き方が認められるまち」と変更してはどうか。				

意見概要及び事務局対応案

基本構想

2 まちづくりの理念

3 目指す都市像

他の部会で審議された意見についても掲載

【対応案】 ①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	部会	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
					対応案	理由	
都市像Ⅰ	7	3	都市像Ⅰの共助、協働という言葉がわかりにくい。	7			7
	8	4	教育・学ぶことは、義務教育期間のみではなく生涯通じて学んでいくことから、都市像Ⅰの文中の「学・社・民」という表記については、義務教育期間を限定したイメージに伝わってしまうため、表現について検討してはどうか。	7			7
都市像Ⅲ	1	3	「目指す都市像」の都市像Ⅲで、本市の個性と拠点性が生かされることで、今後振興・発展が見込まれる産業について、より詳しく記載してはどうか。	8			8
	2	4	都市像Ⅲの文中の「本市が誇る農業や食をはじめとする個性と拠点性が活かされ、魅力的な産業が生まれ」という表記については、農業と食に関する産業だけが生まれるように伝わってしまうため、表現について検討してはどうか。	8			8